

教員の「心の病」による長期病休者 …… 3年間(H27~29)で13人!

3月20日の一般質問で、「教員の長時間労働の改善」について質問しました。最近の精神疾患が原因の病休者数は左表のとおりです。

《教員の「心の病」による病休者数の推移》

年度	H23	H24	H25	H27	H28	H29
	11人	8人	5人	7人	2人	4人

【平野】別府市の教員の長時間労働はどうか？

【市教委】月80時間を超える時間外勤務をしている教員は、約14~15%（人数では70~80人）です。

【平野】文科省の全国調査では、小学校33.5%、中学校56.6%と、大半が月80時間の過労死ラインを超えている。別府市も正確に実態を把握すべきだ。

【平野】3月末発表予定の「改善計画」では、どんな課題に取り組む予定か？

【市教委】第1に、タイムカード導入するかどうかなど、勤務時間の把握方法についての検討。第2に、会議の縮減や部活動の改善など業務改善についての検討。第3に、サポートスタッフ、部活動指導員など人的支援の充実について、などです。平成30年度予算案でも「サポートスタッフ3名配置」を盛り込んでいます。

【平野】業務改善だけでは今の深刻な現状は解決できない。現場に密着している市教委として、教員定数の拡大、授業時間の削減など、抜本的対策を国に要求すべきだ。

【教育長】職員室にいる時間はほとんどない状態だ。教員と子ども達を守るために全力を尽くす決意です。

教員の働き方改革
3月末に「改善計画」を発表する。
……教育委員会が答弁……